

(小項目評価の基準)

《評価結果の記述について》

評価結果の記述は、基本的に以下の考え方に基づいて行った。

(1) 全体評価

【評価結果と判断理由】

全体的な取り組み、項目横断的な取り組みを含む業務実績全体を通じての評価結果と判断理由を記述する。

【全体的な実施状況】

重点的な取り組み及び特筆すべき取り組み

全体的な取り組み、項目横断的な取り組みについて、大学法人が特に重点的に取り組んだ事項を記述するとともに、項目別評価において特筆すべき状況にある主なものについて、客観的な進捗状況等を記述する。

遅れている取り組み

項目別評価において遅れている状況にある主なものについて、客観的のり況にお

最後に、自己点検・評価、情報の点検等について指摘する。

2 項目別評価

大学の教育研究等の質の向上に関する項目

第1 教育に関する項目

第2 研究に関する項目

【進捗状況の確認結果】

「研究水準及び研究の成果等」、「研究の実施体制等」の取り組みについては、年度計画を計画どおり実施しているものと認められる。

【実施状況】

特筆すべき項目

第4 大学の国際化に関する項目

地域の国際化への寄与について

名古屋国際センターと連携し、日本語を母語としない子どもたちへの学習支援として同センターが実施する「夏休み子ども日本語教室」にボランティアとして参加する学生の募集を行っており、当該活動をボランティア科目として単位認定を行う活動に指定している。

また、平成28年5月には名古屋市と共催で、学生が名古屋市の多文化共生を目指したまちづくりについて話し合い意見を発表する「名市大なごや多文化共生まちづくり会議」を開催した。学生は会議への参事 朱 蒼 倣 音 番 す わ 豈 す ク ツ ゝ と

第5 附属病院に関する項目

【評価結果】

(参考)小項目評価

A

業務運営の改善及び効率化に関する項目

【評価結果】

A

(参考)小項目評価

評 価					計
-----	--	--	--	--	---

その他の業務運営に関する項目

【評価結果】

(参考)小項目評価

B

3 參考資料

【委員名簿】(50音順)

